

めぐみ厚生センター センターだより

第 400 号
発行 2024年3月15日

佐賀市緑小路1-3
社会福祉法人めぐみ厚生センター
めぐみ園 0952(34)7722
どりいむ 0952(34)7727
E-mail s-megumi@basil.ocn.ne.jp
富士学園 0952(63)0107
ウイズ富士 0952(51)0063
ピースハイム 0952(64)2012
E-mail fuji-g@b2.bunbun.ne.jp

発行者 栗林 恵一
印刷所 (株)古川総合印刷

ホームページURL <http://www.megumikousei-center.org/>

めぐみ厚生センターは、二〇二三年十二月に、インドネシアから特定技能の労働者を四名雇い入れた。日本の人口は二〇〇四年をピークに減少に転じて、若年人口・生産年齢人口が減少し、高齢人口が増加している。佐賀県の人口も同様に、人口ピラミッドは紡錘型で、生産年齢人口が減っていくのは確実であり、人手が足りない、求人を出しても応募がないと言われて久しい福祉分野であるが、実情は多くの業界で人手が足りない状況である。

今回、外国人労働者の受け入れにあたっては、生活支援の現場での人材不足が第一に挙げられる。職員が集まらない中、高齢者福祉関係で外国人労働者の採用が当たり前になっていることを踏まえて、障害福祉の分野でも可能ではと考え、仲介業者に依頼した。来日可能な数か国の情報を検討してインドネシアの方に決



「外国人労働者の受け入れ」

めぐみ厚生センター

事務局次長 中原 正 浩



めぐみ厚生センターは、二〇二三年十二月に、インドネシアから特定技能の労働者を四名雇い入れた。日本の人口は二〇〇四年をピークに減少に転じて、若年人口・生産年齢人口が増加している。佐賀県の人口も同様に、人口ピラミッドは紡錘型で、生産年齢人口が減っていくのは確実であり、人手が足りない、求人を出しても応募がないと言われて久しい福祉分野であるが、実情は多くの業界で人手が足りない状況である。

今回、外国人労働者の受け入れにあたっては、生活支援の現場での人材不足が第一に挙げられる。職員が集まらない中、高齢者福祉関係で外国人労働者の採用が当たり前になっていることを踏まえて、障害福祉の分野でも可能ではと考え、仲介業者に依頼した。来日可能な数か国の情報を検討してインドネシアの方に決

めぐみ厚生センターとして、初めて外国人労働者を雇用するということで、様々な手続き等を仲介業者と一緒に進めた。電話とメールで、福岡出入国管理局へ最終の書類を提出したのが七月の終わり。そこからなかなか事態は進まず、当初予定していた十一月初旬の入国はできず、十一月十一日の入国となった。

インドネシアからの職員を受け入れるにあたって、まずは住む場所の確保から始まった。めぐみ園では、アパートの選定。富士学園では、職員寮の改修工事を行った。また、仲介業者に依頼し、インドネシアの方を受け入れるにあたっての注意点等

を、めぐみ園・富士学園で研修会を実施し、受け入れの体制を少しずつ整えていき、入国日が決まると、各施設で本格的に受け入れ態勢を整え、生活の場、職場での担当職員を割り当て、職員間での研修も行った。

年間を通して気温が二十五度を超える国から、真冬の佐賀へ。しかも入国の日は小雪が舞っていた。その日に市役所・銀行等での手続きを終えて、各事業所へ。十二月十二日に初出勤され、第一印象は、明るくて笑顔が素敵な女性であった。四月にZOOMで面接したときよりも、格段に日本語が上達されて、スマートフォンで翻訳アプリを使つての会話も想定していたが、アプリを使うことなく会話ができていた。

来日されて、めぐみ厚生センターで勤務をして三か月が過ぎようとしている。仕事にも慣れてきている頃だと思ふ。知的障害を持った利用者さんの支援を通じて、職員とコミュニケーションをとり、日本の文化を知り、日本での生活を楽しいものにしていくと欲しいと願っている。また、海外の方と同じ職場で働く職員も、文化の違いを知り、仕事に向き合う姿勢や支援のあり方、自分の言葉遣い等に気を付けることで、利用者支援が良い方向に向かって行くことを期待する。

めぐみ園

節分イベント

二月二日めぐみ園では一日早い、節分イベントが開催されました。今年は赤鬼、青鬼が棟内へ進入。利用者の皆様は、驚きつつも新年の幸せを願って、楽しそうに邪気を払っていました！



く鬼はそと！
福はうち！



日帰り旅行

二月六日(火) 女性利用者四名、職員二名で、神埼方面へ日帰り旅行に行きました。当日は千代田町の『味彩あらい』で昼食を楽しみ、仁比山温泉で足湯を体験。その後ティータイムと買い物をして帰園されました。



楽しいひと時を過ごせました

水害対応避難訓練

二月十一日(日)、めぐみ園では水害対応避難訓練を行いました。年々被害が大きくなる水害にこれからも少しずつ、確実に対応していきたいと思えます。



皆さん、落ち着いて二階に避難しました

歳末義援金 ベンチ購入

今年度の歳末義援金を活用し、屋外ベンチ三台を購入いたしました。これから、暖かな春に向かい、大活躍してくれることと思います。募金して頂いた多くの方々に感謝申し上げます。



ありがとうございます！

東与賀町民文化祭

二月二十四日(土)、二十五日(日)の両日、東与賀文化ホールで開催された町民文化祭に今年も多数展示させて頂きました。また作品を展示された方を中心に見学も出来、良い刺激になったようでした。



故光石恵子さんお別れ会

一月三十一日、故光石恵子さんお別れ会がめぐみ園創作活動室にてしめやかに営まれました。めぐみ園で五十年過ぎた光石さん。大勢の方が恵子さんとの別れを惜しみながら花を手向けていらつしやいました。



富士学園

正月風景

二〇二四年一月一日（月）、今年も平穩無事に、新たな年を迎えることが出来ました。

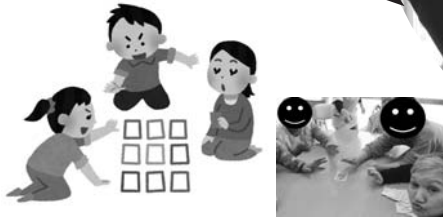
午前中に毎年恒例の元旦カラオケ大会を開催し、昼食時には豪華なおせち料理を皆で美味しく頂きました。

今回より、数年ぶりの年末年始の一時帰省の再開もあり、徐々に本来の日常を取り戻しつつあります。



かるた大会

一月二日（火）パルライフの利用者様と職員でかるた大会を行いました。



職員が読み札を読んだ後に絵札と一致しているものに素早く手を出して絵札を弾かれました。迷われることもありましたが、皆様集中して取り組まれていました。また、笑顔も絶えず、良いお正月遊びになったようです。

ウイズ富士

園芸科 節分

二月二日（金）前日ではありましたがウイズ富士園芸科では節分の豆まきを行いました。事前に利用者の方に鬼のお面を作製して頂いて準備を行いました。鬼に扮した支援員に豆をまいて「鬼は外、福は内」と元気に豆まきを行いました。邪気払いも出来たので、今年一年無病息災を願いたいものでね。



ピースハイム

永石一郎様 還暦祝い

永石一郎様が二月三日（土）で六十歳の還暦を迎えられました。二月五日（月）にウイズ富士にて還暦祝いの贈呈がありました。お祝いの品はご本人様でカタログを見て選んで頂いて以前より希望されていた財布がカタログに掲載されているのを見て嬉しそうにされてました。



ふれあい

お悔み (めぐみ園)

一月二十日(土)めぐみ園で四十八年間過ごされた森下和之さんが五十六歳で亡くなられました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

能登半島地震介護職員派遣 (めぐみ園)

一月二十五日(木)から二十九日(月)まで、厚生労働省から要請された能登半島地震にかかる介護職員等応援に応じ、めぐみ園から三浦係長が派遣されました。



派遣されたいしかわ総合スポーツセンター

聖句

それから、群衆を弟子たちと共に呼び寄せて言われた。わたしの後に従いたい者は、自分を捨て、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい。自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたしのため、また福音のために命を失う者は、それを救うのである。

(マルコによる福音書 八章三十四節〜三十五節)

調理実習 (富士学園)

大石松次様、南川裕貴様と一緒に調理実習を行いました。お二人とも真剣な面持ちで取り組まれ、完成すると満足そうに完食されました。



ふんわり焼けたパンケーキです

告別式 (富士学園)

二月十一日(日)に天に召された故井手口佳紀様の告別式が二月十四日(水)にふれあい館にて、しめやかに執り行われました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



職員レクリエーション (富士学園)

十二月二十五日(月)クリスマス礼拝・愛餐会終了後に職員レクリエーションを開催しました。インドネシアから来られた職員の歓迎会も含め、職員間でコミュニケーションを図るため、各グループに分かれテーマに沿った話し合いをして発表しました。短い時間でしたが、大いに盛り上がり、笑顔溢れる良い機会となりました。



皆様ありがとうございます

(二・三月份)

◎めぐみ園へ

●光石成江様より

寄付

何でもコーナー

三月と言えば

三月と言えば、桃の節句。「ひなまつり」ですね。行事食として甘酒やちらし寿司、ひなあられなどを準備する家庭もあることでしょう。女の子のいる家庭では、子どもの健やかな成長を願ってひな人形を飾ることも。

また、三月二十〜二十一日頃に昼と夜の長さが同じになる祝日「春分の日」があります。

毎年日付が固定されていないのは、一年は約三百六十五日プラス六時間弱あり、春分点を通過する日が毎年ずれるからだそうです。



あとがき

春の訪れと共に、新たな始まりの季節がやってきました。冬から春へ寒暖の差が激しい季節、お身体にお気を付けてください。

この春も良いことがたくさんありますように……

